

句集
喜悦
竹内悦子



神鶏の

暁の一ト声

悦の春

岡井省二先生の著書に「自由自在、融通無礙、遊戯三昧に生きる、表現する、俳句する。そこに法悦と歡喜の境位を体感する、からだそのものとする。その辺に俳句の醍醐味はあろうか」と記されている。

この「法悦と歡喜」、そして、お祝いに頂いた色紙から句集名を「喜悦」とした。

平成十二年

車椅子にのせてもらふや蓮浮葉

般若面震へてをりし半夏かな

街中が動きて牛の祇園かな

射干や墨と膠の匂ひして

不知火は海渡りゆく佛かな

宵闇の鏡は伏せてありにけり

竹林のあはひにて十三夜かな

陰陽師花札に鹿・紅葉かな

鮫鱈を吊れば人間臭くなる

天狼や身心脱落して存す

ほれ吉兆もちたる腕あげにけり

平成十三年

鳥曇り消毒液の匂ひかな

塩壺はその辺にあり櫻鯛

蛇塚の赫き岩肌春の昼

まぶたまばたき
昼時の金鳳華

尻餅をついて
黎のあたりかな

筍の切口に
輪の続くかな

天竺へ手毬
ころがす七変化

木葉木菟こころで起きてみませんか

羅に白寿の母でありしかな

苦瓜や真赤な種を裸にす

省二先生身罷る

澄む月の天上にあり曼荼羅忌

鰯
や
脱
い
で
跨
い
で
白
綸
子

上
段
に
骨
壺
秋
の
曼
陀
羅
華

草
千
里
な
り
老
人
と
赤
と
ん
ぼ

下
京
や
こ
こ
く
れ
な
る
の
箒
草

槐の木ざわついで神集ひけり

平成十四年

牛日の梅町に墨硯かな

たましひの遊んでゆきし懐炉かな

大寒の産毛つきたる卵かな

絵心経に般若波羅蜜春の泥

声明のかすかに夜の櫻かな

春の夜の海市膨れてきたりけり

太陽は一つ寄^が居^う虫^な岡井邸の池

岡井邸の池

緋目高や夜空に星が見えますか

山羊の毛の筆立ててあり日雷

川べりの一つ家やにきてほととぎす

田の隅の泡まだらやひる蛭むしろ蓆

椿の実四方に裂けてしまひけり

不知火は母の葬列かも知れぬ

しばらくは百寿の母と菊脛

新しき牛王札なり小豆粥

平成十五年

水甕の月薄氷となり
にけり

魚津には行かず
じまひや露の臺

白^{どろ}楊^{やなぎ}山を
どよもす風のあり

八十八夜晒木綿の頭
陀袋

婆一人革のソファ―に昼寝かな

帚木のくらやみ薬師如来かな

岡井邸

麻三斤臍の軸吊るしあゝ夏座敷

大入りの柿こけら落としや秋扇



句集
喜き
悦えつ

著者略歴

竹内悦子（たけうち・えつこ）

昭和8年2月20日 大阪市に生る
平成3年8月 岡井省二に師事
平成7年7月 「槐」同人
平成9年1月 句集『悦』上梓
平成11年7月 槐賞受賞
平成12年2月 句集『竹』上梓
4月 槐安集作家推挙

発行 令和二年二月二十日

著者 竹内悦子

発行者 姜琪東

発行所 株式会社 文學の森

〒一六九・〇〇七五

東京都新宿区高田馬場二・一・二 田島ビル

tel 03-5292-9188 fax 03-5292-9199

e-mail mori@bungak.com

ホームページ <http://www.bungak.com>

印刷・製本 有限会社青雲印刷

©Eisuko Takeuchi 2020, Printed in Japan

ISBN978-4-86438-869-6 C0092

落丁・乱丁本はお取替えいたしません。



句集
喜き
悦えつ

発行 令和二年二月二十

著者 竹内悦子

発行者 姜琪東

発行所 株式会社 文學の

千一六九-〇〇七五

東京都新宿区高田馬場二-

tel 03-5292-9188 fax 03-

e-mail mori@bungak.com

ホームページ <http://www.bungak.com>

印刷・製本 有限会社青雲

©Etsuko Takeuchi 2020, F

ISBN978-4-86438-869-6

落丁・乱丁本はお取替えいたしません